

日本の作曲家 2012

「日本の作曲家」は、それぞれが異なったプログラムによる邦人作曲家の作品によるコンサート。
 今回は第1夜が「ヤング・プレイヤーズ・プレイ・ヤング・コンポーザーズ」。U40(40歳以下)の新進作曲家による室内楽作品のプログラムです。
 第2夜は、第39回目となる社団法人日本作曲家協議会の楽譜制作作品によるコンサート。
 そして第3夜は、世界的なサクソフォン奏者須川展也氏を迎えての演奏家プロデュースコンサート。
 2012年に設立50周年を迎える日本作曲家協議会記念の年の幕開けに相応しい豪華な3夜となります。

PROGRAM

第1夜 **新進作曲家による室内楽作品のタベ**
「ヤング・プレイヤーズ・プレイ・ヤング・コンポーザーズ」
 2012年1月19日(木) 19時開演(18時30分開場)
 東京オペラシティ リサイタルホール

第2夜 **第39回 楽譜制作作品演奏会**
 2012年1月26日(木) 19時開演(18時30分開場)
 サントリーホール ブルーローズ(小ホール)

第3夜 **須川展也プロデュース**
 2012年1月27日(金) 19時開演(18時30分開場)
 サントリーホール ブルーローズ(小ホール)



須川展也

©Yuji Hori

【電話予約・お問い合わせ】
 日本作曲家協議会 03-6276-1177
<http://www.jfc.gr.jp> e-mail: info@jfc composers.com
 東京コンサーツ 03-3226-9755
<http://www.tokyo-concerts.co.jp>
 (HPで予約、セブンイレブンで支払・受取ができます)

【チケット】
 ●電子チケットぴあ 0570-02-9999
 Pコード 〈1/19〉151-941 〈1/26〉151-942 〈1/27〉151-943
 ●サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999
 ●東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
 ●東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 (第1夜のみ取り扱い)

入場料 各日3,000円(全席自由)

主 催：社団法人 日本作曲家協議会
 助 成：芸術文化振興基金
 後 援：日本音楽作家団体協議会(FCA)
 制作協力：株式会社 東京コンサーツ

会場のご案内



東京オペラシティ

京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ)
 初台駅東口下車 徒歩5分以内
 (東京オペラシティビルに直結しています。)



サントリーホール

東京メトロ・南北線/六本木一丁目駅
 徒歩5分(3番出口)
 東京メトロ・銀座線/溜池山王駅
 徒歩7分(13番出口)
 都営01系統バス(渋谷~新橋グリーンシャトル)
 赤坂アークヒルズ前下車

新進作曲家による室内楽作品のタベ

「ヤング・プレイヤーズ・プレイ・ヤング・コンポーザーズ」

2012年1月19日(木) 19時開演(18時30分開場) 東京オペラシティ リサイタルホール

| | |
|----------------------------------|--------------|
| 足本憲治：牧歌 | [cl] |
| 大野理津：「来夢奇想曲」 | [pf] |
| 川島素晴：100,000年後のチェロ | [vc] |
| 清水慶彦：クラリネットとチェロのための《回旋譜》 | [cl, vc] |
| 田村修平：「廃墟の響憶」～クラリネット、チェロ、ピアノのための～ | [cl, vc, pf] |
| 壺井一步：天空率Ⅱ | [cl, pf] |
| 中谷 通：2_1/128_1 | [vc, pf] |
| 由雄正恒：3人のソリストと隠れ+αのためのアルゴリズム狂想曲 | [cl, vc, pf] |

*演奏順未定

【演奏】クラリネット=菊地秀夫、チェロ=多井智紀、ピアノ=篠田昌伸



足本 憲治

国立音楽大学大学院作曲専攻修了。室内楽、電子音響作品を中心とした自作品の発表の他、編曲多数。賞歴に第2回JFC作曲賞入選他。最近作としては、8ch音響作品《In the time》(富士電子音響芸術祭2011)、編曲《オルフェオとエウリディーチェ》(いずみホール・オペラ2011)。オーケストレーション『神様のカルテ』(東宝映画)など。現在、国立音楽大学専任講師。日本作曲家協議会会員。



田村 修平

1986年、岡山県出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。第1回老神音楽祭作曲コンクール第1位。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門(一般の部)第3位。オーケストラ、吹奏楽、室内楽、教育作品等幅広いジャンルに渡って多数の作品がある。これまでに作曲を河田文忠、松下功、小鍛冶邦隆の各氏に師事。



大野 理津

1981年、東京出身。3歳よりピアノを始め、17歳から本格的に作曲を始める。2001年、長野戸隠音楽祭作曲コンクールにてアトリエ東風賞受賞。2004年、尚美学園大学作曲コースを卒業。卒業演奏会にて『三味線協奏曲』が演奏される。これまでに作曲を松下功、米倉香織の両氏、商業音楽を坂田晃一氏に師事。現在、作曲・編曲をする傍ら、採譜・伴奏ピアノ・リトミック・音楽療法を目的とした演奏会企画なども行っている。



壺井 一步

1975年兵庫県生まれ。東京音楽大学作曲専攻卒業。作曲を阿部義人、有馬礼子、池野成、藤原豊の各氏に師事。2003年度武満徹作曲賞第4位。第14回芥川作曲賞ノミネート。2005年ノルウェー・ウルティマ音楽祭「辺見康孝&高橋アキデュオリサイタル」で作品が紹介される。第2回大阪国際マンドリンコンクール作曲部門1位。第20回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門1位。第2回山響作曲賞21受賞。室内オーケストラ Ensemble Roca代表。



川島 素晴

1992年秋吉台国際作曲賞、1996年ダルムシュタット・クラークニヒシュタイン音楽賞、1997年芥川作曲賞、2009年中島健蔵音楽賞等。国立音楽大学(専任)、尚美学園大学、東京音楽大学講師。いずみシンフォニエッタ大阪プログラムアドバイザー。現代音楽シリーズeX.(エクストット)主宰。2008年より日本作曲家協議会理事を務め、第1夜のような若手枠(40歳以下)の企画担当も3回目となる、1972年生れ(演奏会時点で40歳)。



中谷 通

1979年生まれ。1996年にフレット可動式の微分音ギターを製作。ロックグループ、ジャズオーケストラ、集団即興グループ等で活動後、ソロパフォーマンスを行う。2000年に南北インドとスリランカを巡り、デリー滞在中にインド古典楽器ディルルバを習う。作品は武満徹作曲賞第3位(2008)、BMWムジカ・ヴィヴァ作曲賞第2位(2010)の他、入野賞佳作(2009)、ガウデアムス賞佳作(2009)を受ける。



清水 慶彦

2009年京都市立芸術大学大学院博士課程(作曲領域)修了、黛敏郎作品の研究論文により博士号(音楽)取得。2010年作品集CD『六相円融』(studio N.A.T.)をリリース、『レコード芸術』誌にて推薦盤に選定されるなど好評をえた。現代音楽グループ「クラムジカ」共同主宰、JCMR KYOTOメンバー。京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、同志社女子大学音楽科嘱託講師。



由雄 正恒

神戸出身。作曲家、メディアマスターNo.75。コンピュータによる芸術作品の創作を専門とし、アルゴリズムミック・コンポジション、音響合成、ライブエレクトロニクス、メディア表現を題材にした創作研究を行っている。昭和音楽大学作曲学科、IAMASアートアンドメディア・ラボ科を卒業。佐藤洋一、上原直、岩下哲也、豊住竜志、三輪真弘の各氏に師事。MOTUS夏期アトリエ・バリ2006にてドゥニ・デュフル氏などからアコースティック音楽作曲法とアコースモニウム演奏法の指導を受ける。ICMC(国際コンピュータ音楽会議)2011入選。電子音響作品は、国内外において演奏される。日本作曲家協議会会員、情報処理学会音楽情報科学研究会会員、日本電子音楽協会理事、昭和音楽大学専任講師。

第39回 楽譜制作作品演奏会

2012年1月26日(木) 19時開演(18時30分開場) サントリーホール ブルーローズ

田丸彩和子：フルート独奏のためのストリーム

フルート＝千葉純子

二宮 毅：夜に滲む

ハープ＝篠崎和子 クラリネット＝菊地秀夫

宮原 節子：「何処かで…」歌とピアノの為の四つの詩

テノール＝倉石 真 ピアノ＝宮原節子

木下大輔：ゆがんだ十字架のヴァリエーション
—ピアノ独奏のための—

ピアノ＝松山 元

小櫻 秀爾：尺八と箏のための三つの小品

尺八＝元永 拓 箏＝田村法子

小川 類：ガ. タ. リ.

チェロ＝海野幹雄

青木 省三：Arc VII b for two pianos

ピアノ＝本田聖嗣、佐々木京子



田丸 彩和子

東京都出身。国立音楽大学楽理科、作曲科卒業。日本現代音楽協会作曲新人賞、日本音楽コンクール、ブダペスト・スプリング・フェスティバル国際作曲コンクール、今日の音楽作曲賞入賞。日本交響楽振興財団作曲賞入選。(社)日本作曲家協議会、日本現代音楽協会、(社)日本歌曲振興会の各会員。



小櫻 秀爾

1938年名古屋生まれ。愛知学芸大学音楽科卒業(愛知教育大)、中学校・高校に勤務後、東京藝術大学作曲科卒業。作品にはオーケストラ、オペラ、室内楽曲、歌曲、合唱曲、邦楽器作品等多数。特にマンドリン使用の合奏曲・室内楽曲が多くコンクール課題曲にもなっている。共著「音楽の基礎」(音楽之友社)。現在、名古屋音楽大学名誉教授、日本教育音楽協会東海北陸地方理事・愛知県支部長、日本マンドリン連盟会員、愛知県立芸術大学講師。



二宮 毅

1972年愛知県生まれ。笹川賞、名古屋文化振興賞、EACA国際作曲コンクール入賞。ヨソナム国際現代音楽祭、パン・ムジーク・フェスティバル、東アジア国際現代音楽祭、ハッポウマン国際現代音楽祭、韓日創作歌曲交流音楽会(以上韓国)、上海之春国際音楽祭(中国)招待作曲家。欧州各地でも演奏、録音、放送される。《空蟬》《雪の花》《寂光の庭園から》《孤影》《夜に滲む》がJFCより出版。<http://ninomiya-tsuyoshi.net> 現在、福岡教育大学教授。



小川 類

日本大学芸術学部大学院修了。修了時に湯川制賞を受賞。CM音楽、映画音楽、現代音楽、エレクトロニカなど多分野で活動している。ISCM世界音楽の日々2011(ザグレブ)アジア音楽祭2011(東京)ブルジュ国際電子音楽祭(仏)電子音楽ミッドウエスト(米)ロゴス・ファンデーション・オーディオ・ビジュアルコンサート(ベルギー)などで作品を発表。全音楽譜出版社より編曲楽譜集を多数出版。日本大学芸術学部音楽学科非常勤講師。



宮原 節子

芸高より東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。米国Notre Dame大学大学院修士課程ピアノ科修了。野呂愛子、三善晃、T.LaRattaの諸氏に師事。東京藝大副手・芸高非常勤講師を務める。現在、東京音大ピアノ科専任講師、日本演奏連盟、日本ピアノ教育連盟、日本作曲家協議会各会員。日本女性作曲家連盟代表、日米音楽交流協会会長。演奏作曲等、国内外で活躍中。作品：マドリッドの雨(カワイ)、五つの季誘(JFC)等。



青木 省三

京都市立芸術大学音楽学部音楽学科作曲専修卒業。作曲を安部幸明、河田文忠の両氏に師事。現在 中国短期大学音楽科教授。「アルビレオ」同人。

〈主要作品〉

「Arc」series 「風の歌」series 「Microcosm」series
「Flow」series 合唱曲「智恵子抄三章」



木下 大輔

1966年 横浜生まれ。東京藝術大学音楽学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修了。第8回「日本の音楽展・作曲賞」受賞、ほか入賞・入選歴多数。現在、宇都宮大学教育学部准教授。

須川展也プロデュース

2012年1月27日(金)19時開演(18時30分開場) サントリーホール ブルーローズ

岡田 正 昭：“Mange” for Soprano Saxophone and Piano

鈴木理恵子：三日月に照らされて—アルト・サクソとピアノのための

川崎絵都夫：〈雪舞〉～「堅雪かんこ」(青森・岩手地方のわらべ唄)による変奏曲～

板津昇龍：「コラージュ=グラデーション」

長生 淳：「ラフォリズム」

生野 裕 久：アルト・サクソフォンとピアノのための無言歌「忘れられぬ声、愛しい君…」

大政 直 人：「スリーアスペクト」 I アクエリアス II ジェミニ III スコーピオン

*演奏順未定

【演奏者】サクソフォン=須川展也

ピアノ=小柳美奈子(川崎・長生・生野作品)、中川俊郎(岡田・鈴木・板津・大政作品)



岡田 正昭

大阪音楽大学大学院作曲科修了。平井康三郎氏に師事。詩と音楽の会、日本作曲家協議会、日本童謡協会等会員。音楽之友社より「岡田正昭歌曲集」出版他合唱曲出版。

三木露風賞、TIAA全日本作曲家コンクール、牧野由多加作曲コンクール等入賞。現在、大阪音楽大学作曲講師。



長生 淳

1964年生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。作曲を永富正之、野田暉行両氏に師事。2000年度武満徹作曲賞、(財)日本交響楽振興財団第24回作曲賞、第16回日本管打・吹奏楽アカデミー賞(作編曲部門)受賞、第4回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第1位入賞。主な作品としては、「夏—朱い忘却」「春—青い泡影」「翠風の光」「楓葉の舞」「Triton」「天国の月」「英雄の時代」「Paganini Lost」などがある。



鈴木 理恵子

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修士課程作曲専攻修了。作曲を尾高惇忠氏に師事。室内楽、邦楽、オーケストラなど、意欲的に作曲活動を行なう。2006年宮下秀

冽氏の委嘱により独奏「雪月花」初演。同年浅草みちびき祭りにて邦楽合奏「森羅万象」一部初演。2007年「真朱」鼓、尺八、チェロが聴衆より選ばれ再演。2011年「日本の作曲家2011」にて「アーモンドプラリネムーン」初演(Vn 大谷康子、Pf 藤井一興)、好評を博す。



生野 裕久

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。85年にワシントンで須川展也氏らにより演奏された「BUGAKU」を始め、同氏と小山実稚恵氏のデュオによる「ベラスケスへのオマージュ」など、サクソ作品を多く手がける。又、ピアノや室内楽作品も国内はもとより米、仏、独などでも演奏され、ロシアで開催された音楽祭でも作品が紹介された。



川崎 絵都夫

作曲家。1959年東京生まれ。魚座。A型。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を松村禎三、石桁真礼生、永富正之、國越健司の各氏に師事。卒業後、坂本龍一・

東京交響楽団・東京都交響楽団のオーケストラを勤めるなど編曲家として活動。並行して邦楽器・合唱・室内楽などの委嘱作品発表を開始。新国立劇場・日生劇場を始めとした舞台音楽も多数。現在、教育出版中学校音楽教科書著者。2000年～2004年、早稲田大学文学部講師。



大政 直人

1954年2月生まれ。東京藝術大学大学院作曲科修了。作曲を甲斐説宗、野田暉行の各氏にヴァイオリンを二村英之氏に師事。2005年銀座王子ホールにおいて須川展也、大谷康子、神谷百子、苅田雅治、中川俊郎など9名の演奏家を迎え個展を行い好評を博す。またそのライブCDはレコード芸術誌で特選盤に選定される。またイベント関係の音楽も多数手がける。現在、日本作曲家協議会理事、深新會副代表、JASRAC会員、(財)ヤマハ創作指導講師。



板津 昇龍

英国ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ・同大学院修士課程を経て、博士課程で学ぶ。SONY/旺文社学生作曲コンクール優勝。文化庁芸術文化支援事業・JFC主催

「日本の作曲家2003」「同2008」、ISCM「World Music Days 2011」に入選。作曲・音楽理論・芸術思想をS.ハリソン、E.グレッグソン、M.フィニシーの各氏に師事。作品は国内外で、演奏・放送・出版されている。

